

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

2023年度入試
学生募集

特待生制度を大幅拡充

特待生制度による授業料減免

●共通テスト利用選抜の成績上位者 30 名を「特待生」とします。

特待生 1 種	年額 70 万円	6 年間 授業料 420 万円	10 名
特待生 2 種	年額 170 万円	6 年間 授業料 1,020 万円	20 名

●一般選抜における成績優秀者 10 名
入学時の授業料を減免します。

入学時特待生 翌年度授業料 70 万円

●各学年で学業成績が優れた者 5 名
翌年度の授業料を減免します。

学業特待生 翌年度授業料 70 万円

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●特待生2種
さらに特待生2種を設け、特待生1種に次ぐ成績優秀者20名を選考する。

●特待生2種
特待生2種の場合は、返済義務のない給付型奨学金（入学時198万円、第2～6学年250万円）が支給され、実質の授業料は毎年度170万円、6年間では1020万円になる。

●特待生1種
18歳人口の減少および歯学部志望者が全国的に減少傾向にあることに鑑み、本学は入学者の安定確保のため2023年度の入学試験から入試制度を改変し、特待生制度を大幅に拡充する。学費優遇措置によって、出資者の学費負担を軽減し、また、経済的な理由から私立歯学部を断念してきた多くの受験生に対して、歯科医師への道の扉を開けることになる。

●特待生1種
本学は2009年度の学生募集から、特待生制度を全国の歯科系大学の中でも先駆けて導入し、これまで多くの特待生を受け入れてきた。これまでの本学の特待生選考試験は、共通テスト利用選抜入試で本学の指定する3教科（英語、数学、理科）の成績および面接の結果を総合して、特待生1種5名を選考していたが、2023年度入試からは、特待生の募集人数を大幅に拡大。共通テスト利用選抜入試における成績上位者30名を特待生とし、成績に応じて2種類の特待生（特待生1種、特待生2種）を決定する。

●特待生1種
選考試験の面接をなくして、共通テスト利用選抜入試に出願するだけで合否が決定するため、多くの出願が期待される。

●特待生1種
2023年度入試からは、特待生の募集人数を大幅に拡大。共通テスト利用選抜入試における成績上位者30名を特待生とし、成績に応じて2種類の特待生（特待生1種、特待生2種）を決定する。

●特待生1種
選考試験の面接をなくして、共通テスト利用選抜入試に出願するだけで合否が決定するため、多くの出願が期待される。

1種10名・2種20名・入学時10名 学費負担の軽減により優秀な学生を安定確保

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合



特待生制度の拡充で多くの優れた歯科医療人を育成する

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合

●入学時特待生
入学時特待生は、2023年度入試からは一般選抜の受験者の中から選考する。一般選抜における成績優秀者10名を入学時特待生とし、入学時の1年間に限り、初年度授業料を特待生1種と同様に70万円とする。

●入学時特待生
一般選抜の試験日は、I期が2月1日（水）と2日（木）。両日のうちどちらか希望する試験日を選択できる。もしくは両日とも受験が可能で、その場合



2023年度の学生募集要項

ジョンソン首相！福島の桃が食べ頃です

内閣官房参与
松本歯科大学常務理事
特命教授
飯島 勲

今月号は『プレジデント』7月1日号「リーダーの掟 飯島勲」より、岸田文雄首相の首脳外交の成果と、その裏にある「おもてなし」の極意に関する記事を要約して紹介します。

5月22日、米国のバイデン大統領が就任後初めて日本にやってきた。迎賓館で日米首脳会談を行い、共同会見では連携の強さが強調された。

24日には、日米豪印首脳会合（QUAD）が開催された。こちらも、就任直後のオーストラリアのアルバニー・ジョー首相や、ロシアや中国との関係で複雑な立場にあるインドからモディ首相が出席したことで世界中から大きく注目された。そうした中で、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて会合をまとめた岸田文雄首相の外交力へ

私が小泉純一郎内閣で首席秘書官を務めたときは、会談相手

の首脳の好みを徹底的に調べ上げた。当時の米国大統領だったジョージ・ブッシュ氏は、ホワイトハウスに必勝祈願のため、明治神宮の破魔矢を飾っているとの情報を入手した私は、破魔矢と対になる大日本弓馬会の弓と鏑矢をお土産に用意した。ブッシュ大統領はとても喜んでくれて、入念な下調べをしてよかったと思う。

今回のバイデン大統領の来日で印象に残ったのは、夕食会のデザートに宮城県名取市の「ジエラリア ナチュリノ」から取り寄せたジェラート3種が採用されたことだ。

大統領がアイスクリーム好きで知られているのはもちろんだが、東日本大震災で米軍が救援活動「トモダチ作戦」を展開した際、副大統領だったバイデン大統領が仙台空港や、名取市内の仮設住宅を訪問したことがあ



福島県産ポップコーンを味わう日英の首相

のを取り寄せたという。

今回は、「和」の趣向にもこだわった。夕食会の会場には、日本庭園が有名な「八芳園」を選び、食事の前には岸田首相の裕子夫人が茶道のお点前を披露。茶室の掛け軸「千里同風」は、「遠く離れていても心は通じ合う」という意味で、素敵な演出だと思った。

首脳同士のつきあいに限らないが、外交はお金をかければよいというものではない。相手を

もてなすということは、「あなたのことをこれだけ真剣に考えています」というメッセージだ。ゴールデンウィークの外遊中に訪問した英国のジョンソン首相へのお土産は、福島県産のフルーツポップコーン4種セットだった。実は、3月にベルギーで行われた日英首脳会談のときに、ジョンソン首相が福島県産のかりんとうを持参して岸田首相と一緒に食べたことがあった。ジョンソン首相はそのかりんとうがお気に入りだ。フクシマ・ビスケット」と呼んで絶賛していた。

英国の首相がわざわざ日本のお菓子お土産に持ってきたのは、英国では東日本大震災以来、長く続いてきた日本産食品への放射性物質輸入規制の撤廃に向けた手続きが進んでいるタイミングだったからだ。首脳会談の場では、手土産によるパフォーマンスも重要な意味がある。5

月のポップコーンはそのお返しともいえるもの。福島市の菱沼農園のオリジナル商品で、りんごと桃の果汁を煮詰めた特製シロップとバターでつくったキャラメルソースが絡まっている新感覚のポップコーンだという。会談では両首相が「もも蜜×ココナッツ味」と「もも蜜×ブラックペッパー味」の2種類を試食した。ジョンソン首相はかなりの満足そうで、彼の場合は、外交上のパフォーマンスという以上に、甘いものが好きなのではないかと思う。

ジョンソン首相は外相時代から福島の桃に関心があり、2017年には当時の河野太郎外相が差し入れた桃の缶ジュースを美味しそうに飲み干していた。次はぜひ、桃の美味しい季節を狙って訪日してほしい。あれほど食べやすく、甘くて美味しい果物は世界でもなかなかないと思う。

第3学年口腔生化学Ⅱ 大阪大学・審良静雄先生が「自然免疫と炎症」を講義



講義をする審良先生

6月10日（金）大阪大学・免疫学フロンティア研究センター前拠点長・審良静雄先生をお迎えし、第3学年口腔生化学Ⅱの授業として「自然免疫と炎症」の講義をしていただいた。審良先生は、自然免疫学の先駆者であり、論文の被引用数は27万5202と世界第1位であり、まさにトップランナーの研究者である。

はじめに、免疫の役割、免疫システムについて、つづいて自然免疫とは何か？について、自然免疫の重要性をお話しされた。その一部を紹介すると、自然免疫は進化の過程で下等生物から高等生物が持ち、一方、獲得免疫は高等生物のみがもつシステムである。外来異物が我々の体内に侵入した際、獲得免疫が成立するためには、数日を要

する。一方、自然免疫は、直ちに外来異物を貪食し、異物をやっつけるため、獲得免疫が成立するまでの一時しのぎと従来から考えられていた。つまり、獲得免疫に対し、自然免疫は下等な免疫システムと考えられていたのである。

しかし、獲得免疫が成立するためには、樹状細胞のような自然免疫の担当細胞が、異物を貪食・分解し、主要組織適合抗原の上に分解した異物由来のペプチドをのせ、T細胞に提示する必要がある。さらに、抗原提示細胞とT細胞のやりとりで補助因子が必要であるが、その発現に自然免疫システムからのシグナルが重要であることが、近年明らかになった。すなわち、獲得免疫を成立させるためには、自然免疫が必須であることをお話しされた。

さらに、従来、樹状細胞やマクロファージは非特異的に異物を貪食すると思われていたが、実は異物の成分や構造に応じた多様な受容体をこれらの細胞は持つっており、さまざまな異物に対し、特異的な認識を行っていることを、講義していただいた。



衛生学院生が農業体験

衛生学院生13人が農業体験 笑顔で作業を終え秋の収穫に期待

昨年に続き、衛生学院生による農業体験に、今年も希望する衛生士学科在籍の1年生から3年生13人が参加しました。大学職員と共に一丸となり、松本歯科大学が管理する広さ1500㎡の畑で「さつま芋」の植え付けに挑戦しました。

6月梅雨入り後でしたが、当日はまずまずの畑仕事日和となりました。今回は、「紅はるか・紅あずま・安納芋」合わせて1200本の苗植え作業です。

マルチ張り機により張られたシート12本の畝へ各担当3人1組で4班に分かれスタート。初参加の1年生も仕事内容に慣れるとスピードも増し、全員が丁寧な手作業で予定どおりに植え付けは終了しました。皆笑顔で労をねぎらい和やかな雰囲気の中、達成した充実感にあふれていました。

10月末頃には収穫、自分たちの手をかけた「さつま芋」を美味しく食べる日を待ちます。日

マルチ張り機により張られたシート12本の畝へ各担当3人1組で4班に分かれスタート。初参加の1年生も仕事内容に慣れるとスピードも増し、全員が丁寧な手作業で予定どおりに植え付けは終了しました。皆笑顔で労をねぎらい和やかな雰囲気の中、達成した充実感にあふれていました。

本スコラ売店、学生食堂、フレンチレストラン、中国レストランにて皆様にも味わっていただける日を楽しみにしています。

（総合歯科医学研究所 教授 小林泰造）

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授
笠原 浩

かつては本学にも山岳部が存在していたが、新入部員ゼロが続いて消滅してしまっ

紅葉の時期もすてきな名勝地である。北アルプス以外では、中央アルプス駒ヶ岳の千畳敷カールをお勧めしたい。駒ヶ根市の菅野台バスセンターの駐車場に車を置き、バスとロープウェイを乗り継げば、2612mの千畳敷カールに建つ千畳敷ホテルまで運び上げてくれる。

より手軽に楽しめるスポーツが人気を集める時代に、重たいザックを担いで汗だくで坂道を登るなんてと、敬遠したくなる気持ちちは分かるが、信州高原の学び舎で青春時代を過ごすことになったからには、学生諸君も一度は高嶺に吹く風のさわやかさを味わってほしいと思う。

夏のアルプスの魅力は実にすばらしいもののなのだ。豊富な残雪と緑のハイマツ、そして色とりどりの高山植物のお花畑など、まさしく雲上のプロムナードとなる。

筆者が東京医科歯科大学山岳部に所属していた時代とは異なって、今や容易に高山の風情を楽しむ行楽地がいくつも生れているのは幸いなことだ。

いくつかご紹介しよう。五竜岳から延びる遠見尾根にある白馬五竜高山植物園はヒマラヤの青いケシやコマクサなど有名で、標高1515mまで

北隣りの唐松岳から延びる八方尾根ならば、1830mまでゴンドラとリフトが利用できる。さらに北へ進めば、杣池高原にもロープウェイがあり、少し歩けば杣池自然園の高山植物が楽しめる。

八方尾根や杣池は、本来は雪の季節のスキーのメッカとして開発されたのだが、花の季節や

夏には山に行こう

ところで、大切な注意事項がある。高山植物園や杣池自然園、あるいは上高地公園などの整備された園地の中なら心配はないが、うかつに登道道に入ってはならない。3000m級の山の稜線は低山ハイキングの常識が通用する世界ではないからだ。一歩誤れば墜落死や滑落死が待っているし、天候が急変すれば真夏でも凍死者が出ている「極地」なのである。

山の魅力に取りつかれるのは結構なことだが、然るべきリーダーの下での訓練で基本的な登山技術を身に付けていない限り、アルプスには危険が一杯なのだ。とくに初心者単独行は自殺行為になりかねない。本格的な登山を志すなら、学内にも経験者は少なくないから、ぜひ相談してほしい。筆者も喜んでお相手しよう。

理事会報告

2021年度事業報告、決算等を承認

学校法人松本歯科大学の第202回理事会および第144回評議員会が5月26日（木）、本部館3階会議室で開催され、2021年度事業報告ほか各議案を審議、いずれも満場一致で承認可決された。



各議案を審議する理事および評議員

- ・学生生活満足度調査を年1回実施し、学生生活の実態を把握することに努め、大学環境の改善等に向けた基礎資料とした。

・研究入門プログラムとして、第2学年に「歯科医学研究A」、第3学年に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くリサーチマインドの養成を行った。

・各学年に学年主任と補佐を4～6人程配置し、学生の修学状況の把握や、学修および学生生活の相談に応じ学生をサポートした。また、科目・授業担当者にはオファスアワーの設定を義務づけ、授業等の質問に個別に対応した。

・自発的学習を促す自己研鑽可能な教育システムとして、学生インターネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載した。

・学生の自主学修体制の支援として、第6学年生の卒業準備委員会のほか、第4・5学年生の学年委員会の設置を認め、感染予防を徹底したうえで自習室を貸し出す等学生の自主的な学修活動を支援した。

・FD研修会を4回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

・新型コロナウイルスの影響で、第1学年は始業時期を1か月弱遅らせ授業を開始した。

・入国できない留学生に対してはオンライン授業を提供し、カリキュラムどおり
- ・学生生活満足度調査を年1回実施し、学生生活の実態を把握することに努め、大学環境の改善等に向けた基礎資料とした。

・研究入門プログラムとして、第2学年に「歯科医学研究A」、第3学年に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くリサーチマインドの養成を行った。

・各学年に学年主任と補佐を4～6人程配置し、学生の修学状況の把握や、学修および学生生活の相談に応じ学生をサポートした。また、科目・授業担当者にはオファスアワーの設定を義務づけ、授業等の質問に個別に対応した。

・自発的学習を促す自己研鑽可能な教育システムとして、学生インターネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載した。

・学生の自主学修体制の支援として、第6学年生の卒業準備委員会のほか、第4・5学年生の学年委員会の設置を認め、感染予防を徹底したうえで自習室を貸し出す等学生の自主的な学修活動を支援した。

・FD研修会を4回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

・新型コロナウイルスの影響で、第1学年は始業時期を1か月弱遅らせ授業を開始した。

・入国できない留学生に対してはオンライン授業を提供し、カリキュラムどおり
- ・学生生活満足度調査を年1回実施し、学生生活の実態を把握することに努め、大学環境の改善等に向けた基礎資料とした。

・研究入門プログラムとして、第2学年に「歯科医学研究A」、第3学年に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くリサーチマインドの養成を行った。

・各学年に学年主任と補佐を4～6人程配置し、学生の修学状況の把握や、学修および学生生活の相談に応じ学生をサポートした。また、科目・授業担当者にはオファスアワーの設定を義務づけ、授業等の質問に個別に対応した。

・自発的学習を促す自己研鑽可能な教育システムとして、学生インターネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載した。

・学生の自主学修体制の支援として、第6学年生の卒業準備委員会のほか、第4・5学年生の学年委員会の設置を認め、感染予防を徹底したうえで自習室を貸し出す等学生の自主的な学修活動を支援した。

・FD研修会を4回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

・新型コロナウイルスの影響で、第1学年は始業時期を1か月弱遅らせ授業を開始した。

・入国できない留学生に対してはオンライン授業を提供し、カリキュラムどおり

- ・授業運営を行った。また、定期試験・進級試験においては、同日に現地（台湾・韓国）で実施した。

・入学者は2021年度秋期選抜が3人、2022年度春期入学が16人（2年編入1人、留学生8人）であった。

・大学院教育の実質化
・授業に出席できない遠方に住む社会人学生に対応するため、授業を収録した映像をネット上で視聴できるようにし、メール等で個別指導を行い大学院教育の実質化を図った。

・第1学年導入科目の医療・科学倫理学概論では、3コマ「English for science & research」「Reading a scientific article」の英語講義を設定し、英語論文活用や英語発表のためのスキル養成に努めた。

・国内外の研究者を招き大学院セミナーを1回開催し、大学院生の能力向上と教員の研究活動の活性化を図った。

・学位論文の審査は、客観的で公平性のある審査を実施し、厳格な判定を行った。

③標準修業年限での学位授与の促進
・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主体的任務を果たした。

④大学教員、研究者の養成
・ティーチング・アシスタントとして大学院学生1人を採用し、教育・研究指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援を行った。

・リサーチアシスタントにつ
- ・授業運営を行った。また、定期試験・進級試験においては、同日に現地（台湾・韓国）で実施した。

・入学者は2021年度秋期選抜が3人、2022年度春期入学が16人（2年編入1人、留学生8人）であった。

・大学院教育の実質化
・授業に出席できない遠方に住む社会人学生に対応するため、授業を収録した映像をネット上で視聴できるようにし、メール等で個別指導を行い大学院教育の実質化を図った。

・第1学年導入科目の医療・科学倫理学概論では、3コマ「English for science & research」「Reading a scientific article」の英語講義を設定し、英語論文活用や英語発表のためのスキル養成に努めた。

・国内外の研究者を招き大学院セミナーを1回開催し、大学院生の能力向上と教員の研究活動の活性化を図った。

・学位論文の審査は、客観的で公平性のある審査を実施し、厳格な判定を行った。

③標準修業年限での学位授与の促進
・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主体的任務を果たした。

④大学教員、研究者の養成
・ティーチング・アシスタントとして大学院学生1人を採用し、教育・研究指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援を行った。

・リサーチアシスタントにつ
- ・授業運営を行った。また、定期試験・進級試験においては、同日に現地（台湾・韓国）で実施した。

・入学者は2021年度秋期選抜が3人、2022年度春期入学が16人（2年編入1人、留学生8人）であった。

・大学院教育の実質化
・授業に出席できない遠方に住む社会人学生に対応するため、授業を収録した映像をネット上で視聴できるようにし、メール等で個別指導を行い大学院教育の実質化を図った。

・第1学年導入科目の医療・科学倫理学概論では、3コマ「English for science & research」「Reading a scientific article」の英語講義を設定し、英語論文活用や英語発表のためのスキル養成に努めた。

・国内外の研究者を招き大学院セミナーを1回開催し、大学院生の能力向上と教員の研究活動の活性化を図った。

・学位論文の審査は、客観的で公平性のある審査を実施し、厳格な判定を行った。

③標準修業年限での学位授与の促進
・大学院生の指導は、複数教員指導体制とし、主指導教員は学位論文の作成着手から完成に至るまでの研究指導の主体的任務を果たした。

④大学教員、研究者の養成
・ティーチング・アシスタントとして大学院学生1人を採用し、教育・研究指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援を行った。

・リサーチアシスタントにつ

令和3年度資金収支計算書および令和4年度予算書		
(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (令和4年4月1日～令和5年3月31日)		
(単位 円)		
収入の部		
科 目	令和3年度決算	令和4年度予算
学生生徒等納付金収入	2,342,040,967	2,206,740,000
手数料収入	17,553,880	18,100,000
寄付金収入	16,911,650	43,100,000
補助金収入	337,566,897	248,000,000
資産売却収入	22,320,000	0
付随事業・収益事業収入	1,763,448,921	1,665,000,000
受取利息・配当金収入	189,326,715	188,000,000
雑収入	157,176,758	79,300,000
借入金等収入	0	0
前受金収入	212,475,672	300,000,000
その他の収入	1,272,878,004	1,231,700,000
資金収入調整勘定	△ 577,082,235	△ 501,500,000
前年度繰越支払資金	602,960,618	617,000,000
収入の部合計	6,357,577,847	6,095,440,000
支出の部		
科 目	令和3年度決算	令和4年度予算
人件費支出	2,419,014,059	2,303,000,000
教育研究経費支出	1,417,960,810	1,386,800,000
管理経費支出	736,457,533	759,500,000
借入金等利息支出	0	54,000,000
借入金等返済支出	0	0
施設関係支出	379,403,781	110,500,000
設備関係支出	176,049,094	363,700,000
資産運用支出	769	0
その他の支出	1,320,132,648	1,345,700,000
(予備費)	0	0
資金支出調整勘定	△ 707,539,612	△ 359,000,000
翌年度繰越支払資金	616,098,765	131,240,000
支出の部合計	6,357,577,847	6,095,440,000

貸借対照表		
令和4年3月31日		
(単位 円)		
資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	16,517,876,221	16,793,955,258
有形固定資産	12,868,495,231	13,120,261,027
土地	3,908,075,598	3,936,073,628
建物	6,952,370,843	7,443,926,729
その他の有形固定資産	2,008,048,790	1,740,260,670
特定資産	105,667,861	105,666,808
その他の固定資産	3,543,713,129	3,568,027,423
有価証券	3,389,145,200	3,389,145,200
長期貸付金他	154,567,929	178,882,223
流動資産	970,371,727	951,312,758
現金預金	616,098,765	602,960,618
その他の流動資産	354,272,962	348,352,140
資産の部合計	17,488,247,948	17,745,268,016
負債の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定負債	1,256,353,360	964,089,411
流動負債	789,996,915	840,135,295
負債の部合計	2,046,350,275	1,804,224,706
純資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
基本金	40,845,323,979	40,770,004,191
繰越収支差額	△ 25,403,426,306	△ 24,828,960,881
純資産の部合計	15,441,897,673	15,941,043,310
負債及び純資産の部合計	17,488,247,948	17,745,268,016

- ①歯学部教育の質の保証と向上
・進級判定、卒業判定ともに判定基準を明確にし、客観性のある厳格な成績判定を実施した。

・授業評価アンケートを前期・後期の2回実施し、授業に対する学生の理解度や満足度を調査した。結果は学内会議で報告し、職員・学生インターネットで公表。科目担当者には改善計画書の提出を求め、学生インタビューに掲示した。
- ②退学者、除籍者の低減
・退学者の減少、友人づくりの支援を目的とした初年次教育として、例年4日間程度実施している新入生オリエンテーションは、新型コロナウイルスの影響で2日間の実施となった。

・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、月2～3回、1回あたり2時間、年間30回実施した。コロナの影響で昨年の2倍以上の件数となり、さまざまな心理的問題に対応した。

・学業成績が良好で経済的理由により修学が困難な学生に対し、日本学生支援機構の奨学金制度や大学独自の奨学金制度により、経済的支援を行った。

③標準修業年限内での卒業率の向上
・初年次教育では双方向的、協働的な授業（入門歯科医学「等」を通じ、能動的で自律（自立）的な学修への転換を目指した。

・学生・保護者に対し面談を実施し、学生生活や学習方法に関する助言を行った。

④第115回歯科医師国家試験の現役学生（新卒）の合格者は75人、合格率90・4%を達成した。
- ⑤学生生活満足度調査を年1回実施し、学生生活の実態を把握することに努め、大学環境の改善等に向けた基礎資料とした。

・研究入門プログラムとして、第2学年に「歯科医学研究A」、第3学年に「歯科医学研究B」を開設し、未来の歯科医療を拓くリサーチマインドの養成を行った。

・各学年に学年主任と補佐を4～6人程配置し、学生の修学状況の把握や、学修および学生生活の相談に応じ学生をサポートした。また、科目・授業担当者にはオファスアワーの設定を義務づけ、授業等の質問に個別に対応した。

・自発的学習を促す自己研鑽可能な教育システムとして、学生インターネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載した。

・学生の自主学修体制の支援として、第6学年生の卒業準備委員会のほか、第4・5学年生の学年委員会の設置を認め、感染予防を徹底したうえで自習室を貸し出す等学生の自主的な学修活動を支援した。

・FD研修会を4回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

・新型コロナウイルスの影響で、第1学年は始業時期を1か月弱遅らせ授業を開始した。

・入国できない留学生に対してはオンライン授業を提供し、カリキュラムどおり
- ⑥学位授与状況
・標準修業年限での学位取得者10人、論文提出による学位取得者2人

⑦松本歯科大学衛生学院
①社会のニーズを踏まえた実践的な歯科衛生士の育成
・演習時のグループワークや実習での班行動を通じ協調性を培った。

・第1学年より医療従事者の心構えなどを学び、戴帽式・登院前オリエンテーションにおいて、医療人としての自覚、責任を認識させた。

②優秀な入学者の確保
・指定校を、新たに1校追加し、推薦員数を増やした。

・高校を会場に行われる進学相談会に5回参加し、相談
- ①眼科閉鎖により患者数は減少したが、全体としての収益は改善した。また、整形外科患者は増加し、リハビリテーションによる収益も増加した。

②二條皮膚科クリニックは、サテライトクリニックとして開設以降改善された実績が維持された。

③共通部門
①歯科・医科連携として「味覚専門外来」を耳鼻いんこう科と歯科が協力し検査を開始する事ができた。

②新型コロナウイルス接種を行い、社会貢献及び収益増加につなげる事ができ、住民接種、職域接種等企業の職域接種に協力した。
- ①施設・設備の維持管理
・施設・設備の維持について安全面に配慮して必要なものから工事・修繕を行った。

・節電対策として、LED照明に順次更新し経費削減を図った。

②図書館
・各種推薦図書紹介の更新頻度を上げ、利用向上につなげることができた。

③組織・人事
・9月に国際医療福祉大学の野田先生を招き、SDを実施した。

④経常的経費の見直し
・提出された予算は、重要性や緊急性を聴取し必要性のあるものについて、予算執行できた。

⑤学生募集・広報活動
・ホームページにWebオープンキャンパスを掲載しオンライン個別相談を実施した。

第79回日本歯科理工学会に参加して 3年ぶりの現地開催 対面の質疑応答に感慨無量



登壇した黒岩教授（中央）写真提供：日比野靖客員教授

第79回日本歯科理工学会が5月21日（土）・22日（日）の両日、

いわて県民情報交流センターで開催された。口頭発表は研究奨励賞への応募を含め21題、ポスター発表が51題、名古屋大学の大槻主税先生をお迎えした特別講演、また3Dプリンターの現状を特集した学会主導型シンポジウムと、盛りだくさんなプログラムであった。

日本歯科理工学会としては、2019年（令和元年）の秋に長崎大学で渡邊郁哉先生がご担

当された第74回学術講演会以来の現地開催であり、参加された方々も何とも言えぬ新鮮さを感じられたものと思う。コロナ禍で様々なことが制限されてきた中で、それまで当たり前のよう

に開催されていた学術講演会がありがたみを肌で感じることもなかった。

2020から2021年度への理事長を務められた鶴見大・早川徹先生が、就任後初めてモニターを介さずに挨拶を述べられた。この2年間の誌上

開催、Web開催、2020年に開催予定であった国際歯科材料会議（台湾）の延期など、無念の思いの一端を吐露された。同時に第79回大会を開催にこぎつけた岩手医科大学・武本真治先生に対する感謝と労いの言葉があり、感慨深いものがあった。

静まり返った会場内での口頭発表は直に発表者の肉声だけが場内に響き、質疑応答でも熱のこもった迫力あるやり取りが堪能できた。ポスター会場では演者とマスク越しではあるが至近距離で言葉を交わし、名刺交換や歓談といった懐かしい風景が戻ってきた。懇親会も幾多の制限はあったが、実施されたことがプレシャスであった。

（理工学講座学術部長 朝日大歯学部歯工学講座教授 王置達）

中国料理レストラン『スターダスト』 感染対策を徹底しランチバイキング再開

中国料理レストラン「スターダスト」は、コロナ禍の影響のため中止していたランチバイキングを、6月7日（火）より再開した。コロナ対策として、入口で手指消毒と検温をし、エアーでビニール手袋を膨らませて装着できる自動手袋装着マシーンも設置。感染予防の工夫で、安心して食事が楽しめる環境づくりを行っている。

「エビマヨ」「豚の角煮」や「ごま団子」「タピオカ」など全14品。学生には800円、教職員・一般には1500円で提供し、営業時間は11時30分～13時30分。



手袋をしてバイキングを楽しむ学生

ズナブルなので、おいに利用します」と感想を述べた。ホール担当の原田由香さんは、「安心して食事してもらえ、ことを最優先に考え感染対策をしているので、足を運んでほしい」と来店を呼びかけている。

私立歯科大学協会事務局長会議を本学で開催 翌日は法被姿で諏訪大社御柱祭を堪能

一般社団法人日本私立歯科大学協会の2022年度第1回事務局長会議は、本学が当番校となり、5月14日（土）に創立30年記念棟「常念岳」の間で開催された。

会議には同協会に加盟する全国私立歯科大学から事務局長・事務部長ら13人が出席した。コロナ禍のため、例年より若くない人数での開催ではあったが、各大学の2022年度入試の結果や今後の活動計画などについて活発な議論が行われた。

東京医科歯科大学 浅原弘嗣先生が講演 「スポーツの才能と遺伝子」

5月27日（金）、東京医科歯科大学システム発生・再生医学分野教授 浅原弘嗣先生をお迎えし、大学院セミナー（ランチオンセミナー）を開催した。

浅原先生は、岡山大学医学部を卒業後、整形外科医として活躍しながら、基礎医学研究者としてハーバード大学、ソーク研究所、スクリプス研究所において大きな業績を上げてこられた。国立成育医療センター研究所部長を経て、現在は、東京医科歯科大学とスクリプス研究所において世界的な研究チームを牽引している。

浅原先生は、いち早く「ヒト・マウス・パラリンピック競技大会

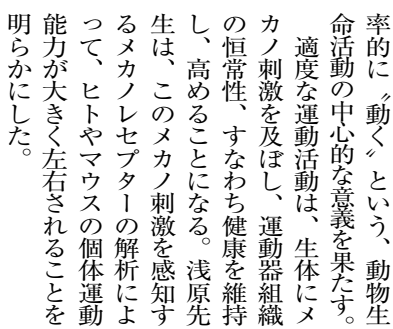
に代表されるように、ヒトの運動能力・アスリート能力は、時代と国境を越えて多くの心を魅了し、その記録は人類の文化的財産として共有される。



講演する浅原先生

生物をして、動物たるしめる運動器においては、外界から摂取されたATPエネルギーが運動エネルギーとして、発現・伝達され、さらに、次のエネルギーを吸収するために効

率的に、動くという、動物生命活動の中心的な意義を果たす。過度な運動活動は、生体にメカノ刺激を及ぼし、運動器組織の恒常性、すなわち健康を維持し、高めることになる。浅原先生は、このメカノ刺激を感知するメカノレセプターの解析によって、ヒトやマウスの個体運動能力が大きく左右されることを明らかにした。



エア一式手袋自動装着装置

浅原先生のセミナーの冒頭には、浅原研究室の歯学分野での話題提供として矢ヶ崎理紗先生（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学大学院生）による英語のプレゼンテーションが行われた。ヒト・マウスの再生の要となる遺伝子Mshaw (Mkx) の歯根膜における役割について、Mkx遺伝子欠損マウスを用いた歯周病



左から矢ヶ崎理事長、浅原先生、矢ヶ崎理紗先生、筆者

（生化学講座 教授 宇田川信之）

第37回日本歯科産業学会 総会・学術講演会のご案内

理工学講座・黒岩昭弘教授が大会長となり「日本歯科産業学会第37回総会・学術講演会」が7月30日（土）、31日（日）の両日、本学図書館学生会ホールで開催される。日本歯科理工学会中部地方会とのジョイント開催となり、準備委員長は同講座の洞沢功子准教授が務める。「これからの歯科医療最前線」をテーマに、教育シンポジウムや一般講演、教育講演、特別講演などを実施。本学からは、教育シンポジウムに生化学講座の宇田川信之教授（歯学部学部長）が登壇し、教育講演では口腔インプラント科の矢島安朝特任教授（病院長）が講演する。



事務局長会議に参加した皆さん

と国宝旧開智学校を見学し、宿泊先の美ヶ原温泉ホテル翔峰で懇親会を開いて親睦を深めた。翌15日（日）は、法被をまとい1200年以上も連綿と受け継がれ、7年目ごとの寅と申の年に行われる、天下の大祭「諏訪大社御柱祭」の下社里曳き2日目を見学した。御柱が木遣りと氏子の掛け声とともに、春宮に向けてゆっくり下る様子など、勇壮で華やかな祭りの雰囲気を楽しんだ。

人事異動

〔契約満了〕
黒岩 寧々
5月31日付
（研修歯科医）
〔採用〕
齊藤 恵
6月1日付
（事務局長補佐）
〔配置換・兼務〕
堀内 規子
6月1日付
（法務部事務課補佐）

7月行事予定

5日（火）
Ⅱ期試験（第6学年）
10日（日）
一日体験入学（歯学部）
20日（水）29日（金）
定期試験（第4学年）
23日（土）
一日体験入学（衛生学院）
23日（土）
留学生選抜（A）
編入学選抜（A）
24日（日）
一日体験入学（歯学部）
27日（水）
大学院発表会
31日（日）
一日体験入学（歯学部）

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



twitter



Instagram



facebook

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

①7月10日(日) ②7月24日(日)
③7月31日(日) ④8月7日(日)
⑤8月21日(日)

※7・8月開催分のみ掲載
開催時間 9:30～15:00 (受付9:00～)

●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■
HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp